

一般質問

一般質問とは、本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。旭市のさまざまな課題などについて、市の考えを聞き、説明を求めます。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



不登校に悩む保護者の支援を

問 市内小中学校の不登校児童・生徒数は？

答 平成30年度が70名、令和元年度が71名、令和2年度が86名と年々増加傾向。

問 不登校児童・生徒とその保護者への支援はどのようになっているのか。

答 市では、市役所内にある適応指導教室「フレンドあさひ」により、不登校児童・生徒への継続的な支援をしている。保護者への支援は、保護者面談に加え、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる面談も実施している。

問 不登校に悩む保護者同士で話をする場などをつくる予定はあるか。

答 適応指導教室に通級している児童・生徒の保護者や学校関係者の交流会を年3回実施している。今後、通級していなくても参加できるような話合いの場も



崎山 華英 議員



必要に応じて設定していきたい。

インクルーシブな遊具導入を

問 旧市役所跡地を公園にするとのことだが、インクルーシブ公園(障害のある子もいない子も一緒に遊ぶことができる公園)としての遊具を導入できないか。

答 舗装、芝張りなどの設置を予定しているが、詳細はまだ未定。インクルーシブな遊具についても計画段階で検討する。

問 市内公園の遊具等設備の保守点検、見回りはどのようにしているのか。

答 専門業者による点検を年一回、その他は市職員や維持管理者などが作業・巡回を実施しており、不具合や危険箇所を発見した場合は速やかに安全確保し、順次修繕している。



都立砧公園にあるインクルーシブな遊具

その他の質問事項

○ 妊活から産後のサポート